

榎原副市長

八本松18自治会長と意見交換会

自治会部会

これからの東広島市と住民自治協議会

要約紹介

八本松住民自治協議会自治会部会（部会長 山本孝喜）は6月24日東広島市の榎原副市長を地域センターに招き、地域の課題解決のため、東広島市の現状と将来構想、市行政と住民自治協議会や自治会の関わり方について副市長との意見交換を交え勉強会を行った。

司会(佐々木副会長)

本年度、自治会部会は「地域の課題解決のため、行政のトップとの意見交換会を開催する」ことを重点活動の一つとしており、榎原副市長様をはじめ市政の中枢を担われる方にご出席いただき、この会を開きました。

あいさつ(山本部会長)

本日は議会等でお疲れのなかのご出席感謝します。我々自治会部会は「八本松に住んでよかった」と言われるまちづくりを目指しており、その中心となつて活動していただく自治会長さん（18名）の勉強会として開催しました。

東広島市の課題と強み 人口増のシナリオ 自治協への期待

資料 東広島市提供



市の役割と自治協・自治会の役割

「地域をよりよくし、より住みやすくする」という思いは住民自治協議会や自治会（地域）と市も一緒です。

この思いを実現するため、全体の枠組みや仕組みを作ったり予算立てするのが市の役割。しかし、地域の細かい実態まで市はなかなか把握できない。具体的にどういう地域を作っていくのか判断し、それにむけて行動するのが地域の役割

だと思っている。

先般全市的な地震が起きたと想定し防災図上訓練を行った。しかし、

障害者や高齢者の方の避難の支援や避難所の運営まで市が対応することは困難で地域の自主的な活動が必要になることを痛感した。幸い当地域は先進的にこうした防災訓練に取り組んでおられる。

そのような市の対応が困難な活動について、地域の実情にあった形でやっていたらいい。実施に当たっては自治会長の皆さんにご負担をかけると思うがよろしくお願いします。

東広島全体の人口動態と課題

東広島市の人口は現在19万3千人で将来20万都市を目指している。人口20万人が実現できれば中核市として住民に身近な行政ができる。当市は過去「物づくり」の市として人口を伸ばしてきたが「イマシヨック（2008年金融危機）以降、「物づくり」の停滞で人口増加の伸びが緩やかとなった。人口20万人の目標実現には、

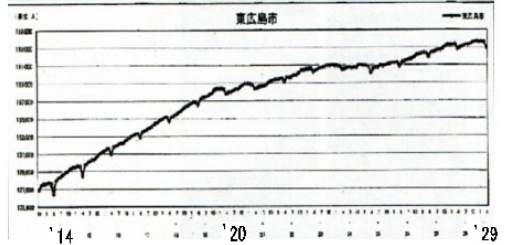
- ① 4大学の学生（1万6千人）の市内就職率（3%）をもっと高めること。
- ② 「子育てするな



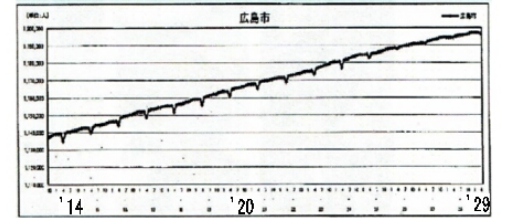
意見交換会の状況 榎原副市長（正面右から二人目）

ら東広島で「キャンパーン」で子育て世代を増やすこと。
 ③人口減少の進む周辺地域で「移住するなら東広島」の活動を進めること等の対応が必要と考えている。

東広島市 (H29.4.1推計 193,019人)



広島市 (H29.4.1推計 1,196,456人)



東広島市の目指すところ 人々から選ばれる人口20万都市への挑戦

蔵田市長の施政方針は「日本一住みよいまちづくり」で地域経済の活性化（経済都市）と暮らしの質の向上（生活都市）を好循環でどうやって廻してゆくかがポイントと考えている。当市の特色である国際学術研究都市として、4大学と中四国一の研究機関の集積等の強みを活かした全体としての町づくり

増加すればマーケットが拡大し正のスパイラルに入る。そのため、「人々から選ばれる人口20万都市への挑戦」を掲げた。

日本一住みよいまちづくり

都市には、経済都市と生活都市の両面がある。目指すは、「地域経済の活性化」と「暮らしの質的向上」。

未来にはばたく国際学術研究都市

- ①JICA中国・ひろしま国際センター（研修部）・留学生、
- ②4大学1万6千人の学生、③中四国一の研究機関の集積

人々から選ばれる人口20万都市への挑戦

人口減少→マーケットの縮小・企業の撤退→生活機能の低下→人口減少
 人口増加→マーケットの拡大・企業の進出→生活機能の向上→人口増加

過去、東広島市は賀茂学園都市や広島中央テクノポリスの建設等物づくりを中心に発展してきた。また、最近では東広島芸術文化ホールからの開館、待望のJR寺家駅の開業や寺家の産業団地への企業集積等により、課題とされた都市機能の充実に対応している。

幅等の整備事業をやっていききたい。この事業は平成元年に計画(22.0%)とされたが合意形成に至らず、これ以上事業の先延ばしが必要ないため、平成27年に区域を縮小(10.6ha)した計画に変更決定した。

今後の計画は平成31年度に工事着手、平成40年度に



型の方、八本松駅前土地区画整備事業の駅西条
 後の山陽自動車道八本松スマートインターチェンジ

今後は、八本松が本市の西の玄関口にあふさわしい町となるよう、駅前周辺の良好な住宅づくり、商業施設の立地、道路の拡張等の整備事業をやっていききたい。

また、山陽自動車道志和ICの混雑解消のため、西条ICと志和ICの間に八本松スマートICを開設する予定。これにより志和ICの混雑の解消と八本松地域の集積した産業団地の利便性の向上に大きな期待を寄せてい

